

会議議事録

1 会議名	令和7年度 第1回長岡市スポーツ推進審議会
2 開催日時	令和7年11月28日（金）10：00～12：00
3 開催場所	さいわいプラザ4階 401会議室
4 出席者名	<p>委員：9名 中川信行委員長、田村万里子副委員長、中村真衣委員、 針谷美智子委員、五十嵐洋美委員、原田一委員、野口富 枝委員、三上徹人委員、島田泰維委員</p> <p>長岡市スポーツ協会（オブザーバー）：2名 権沢常務理事兼事務局長、室賀事務局次長</p> <p>長岡市：7名 小池市民協働推進部長、中山スポーツ振興課長、佐藤 課長補佐、渡辺係長、菊地係長、鷲尾係長、豊田職員</p>
5 欠席者名	3名（浅間光一委員、笠原哲雄委員、石坂陽之介委員）
6 議題	<p>1 第3期長岡市スポーツ推進計画の策定について（協 議）</p> <p>2 （1）長岡市中学校部活動地域展開の実施状況につ いて（報告） （2）令和8年度予算化に向けた主な事業について （報告）</p> <p>3 その他</p>
7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 議題1について、各委員から意見が出された。協議内 容を踏まえて事務局で今後の展開を検討することになっ た。 報告事項を資料に基づき説明した。 その他について課題共有を行った。

8 審議の内容	
委員長	これより議題の審議を行います。
(議題)	第3期長岡市スポーツ推進計画の策定について（事務局説明）
○○委員	あまり運動をしない世代、若者、子育て世代。そういう中でも地域で考えた調査という方法もあるのでは。旧長岡と寺泊では全然環境が違う。その中で同じようなアンケートの取り方を考えると、偏った結果が出る可能性があることを危惧している。
事務局	現在の推進計画の中間見直しを5年毎に行っている。前回は令和4年度になるが、その時は10歳以上の市民3,000人を無作為抽出してアンケートを取った。基本的に市がこういった計画を作る前提としての調査で取っている手法。市町村合併を踏まえた広域化した状態が約20年経過しているが、○○委員が言わされたように、そういうところについても補足的に声を拾っていくことは必要だと思う。可能な限り全市から拾えるような工夫もコンサルティング業者と調整していきたい。
○○委員	アンケートを取る際に地域性もあるが、年代もそう。無作為で行った場合、どれだけ各年代の結果が拾えるのか気になる。もう一つは、スポーツに関わった人の割合を最終的に80%にするということだが、スポーツにあなたが関わっていますかという「する」「みる」「ささえる」というのはどの程度なのか。1年間にどれだけというふうに具体的に聞くのか。それによっていくらでも数値は変わってくるので、いろいろ検討も必要かなと感じた。
事務局	総合計画のアンケートをとった時は、この1年間に一度でも、というような聞き方をしている。国の策定している計画の中で、1年間に一度でもスポーツに関わる人の割合を100%に近付けたいという目標があるので、そういうものを参考に今回は設定している。国のアンケートの取り方は、「する」ならその中でもサッカーなのか野球なのか、細かく選ぶ項目になつ

	ている。長岡市では総合計画のたくさんある項目の中の一つなので、聞き方としてはそこまで細分化した質問項目が取れない。あくまでもこの1年間にスポーツに関わったか、関わっていないかの二択。また、スポーツとは何かというところは注釈をつけていて、「する」であれば気晴らしの散歩、観戦であればテレビ観戦、現地での観戦も含まれる。「ささえる」であれば、お子さんの送迎、応援なども含まれる注釈をつけた中で、アンケートを取っている。
○○委員	今の中で、テレビ見ただけでも関わっているということか。
事務局	そうです。みるスポーツ。国の調査の選択肢の中で、テレビでスポーツをみたことがあるという欄がある。なので大体の方は見ていると思うので、国は結果的には80%。
○○委員	ここで見ると長岡市ではスポーツに関わっていない人が4割ということが出ているが、本当か。9割くらいではないか、実質的に。その4割というのは、どう思うか。
事務局	自分自身の認識もそうですが、スポーツはやはりする人の実施率を上げたいと思って常にやってきている。「する」スポーツの多様性を求めがち。スポーツへの関わり方が多様化しているのでは、と。スポーツの持つ親和性が高い分野とどう関わっていくかということをこれから大事にしないといけない。当然することが大事というものがベースにあるが、幅広に考えて、見たり、支えたりすることから自分でもやってみようかと発展するような人も多分出てくる。いかに多くのきっかけを与えていくのかが大事。その中で4割という聞き方も私共もまだ「する」方に軸足を置いた囚われ方をしていたのかと思っている。
○○委員	実際に総合型がイベントを行うと、ボランティアが参加人数より多い。地域の方がいろいろ参加してくれる。そういう考えの中で、シーサイドマラソンのような、400人500人のボランティアが参加してくれていたイベントがなくなったのは残念だなと思う。
委員長	○○委員はeスポーツをされているということだが、最近は

	どうですか。もちろんこれも「する」に入ると思うが、参加する方は増えているか。
○○委員	そうですね。7月20日くらいからお盆過ぎ辺りまで、eスポーツ体験会というのを市の施設であるトモシア、ミライエ、アオーレで順々に行つた。参加人数は100名弱という日もあった。お子さんも盛り上がりはまだまだすごいなと感じている。
○○委員	eスポーツに付随して。てらスポではボッチャのゲームをしている。中学校である程度熟練者に子ども達が育つて、小学校を巻き込んで種目のエリアを作る。今的人口減少の地域の中で、小中の連携を図つていくと地域の活性化に繋がるというのをてらスポの講習会で指導を受けた。中学校ばかりではなく、小中連携のスポーツ、例えばeスポーツ、ボッチャ。これから色々出てくると思うので、そういうのもいいのではないかと思う。
○○委員	そういった意味では、先ほどの体験会は土日大学生が小学生に教えていたが、平日は障害をお持ちの方が小学生に指導するという形だった。全く問題なく、すごくいい交流が生まれていたと感じている。
○○委員	ユニバーサルスポーツですね。
委員長	○○委員、いかがですか。
○○委員	少し話がずれるかもしれないが、体育現場の中で運動を続けていく、運動に関わっていく中に運動有能感というのがある。これは自分が運動できる、将来的にやってみたら自分ができるようになるだろう、などいくつか因子があるがその中の一つに受容感がある。これは自分が運動した時に、仲間が応援してくれる、出来た事に対して拍手をしてくれるというような因子で、女性は特に年齢層が上がっていくほどこの因子が強く運動に関わっていきたいというところに影響するだろうと言われている。この点からみると、一つの課題として子育て世代や働く世代であった時に、やはりターゲットを女性に当てる時、仲

	間と一緒にや、行った先で友達が出来るなどが継続につながっていくのかなと感じた。もう一つ言えば、学校現場にはどうしても体を動かすことが苦手な子がとても多い。そういう子たちが少しでもスポーツに関わっていくという点では、きっかけとして e スポーツは大きな価値があるので以前〇〇委員と一緒にした際に感じた。難しい動きはせずともミッションクリアしていくところで、体を動かす楽しさを感じることが出来る。このあたりをうまく抱き合せながら進めていくことにより、少しでも多くの人がスポーツに関わっていくのでは。
委員長	新潟医療福祉大学では、学生がボランティアという形でいろんなスポーツに関わっているケースが多いのでは。
〇〇委員	部活動をしている子たちを中心に、まずは部活が母体になってボランティアをしている。将来的に教員になりたい子は、学校現場に行って、子ども達の運動・スポーツを支えるなどいろいろな場面で関わらせていただいている。
委員長	女性の話が出たが、〇〇委員いかがですか。
〇〇委員	また話がずれるが、アンケートはWEB回答ですか。用紙のアンケートですか。
事務局	今回は郵送でお送りして、WEBで回答いただく。
〇〇委員	WEB回答になると、若い人は出来るが高齢者の方にとっては壁があるので、今まで年齢層に区切ってアンケートを取ったことがあるか。
事務局	はい。質問に年齢を聞く項目がある。
〇〇委員	〇〇委員と〇〇委員が言っていたように、地域での違いでも年齢層の違いでもニーズは変わってくると思う。このご時世ひとつくりというのは難しく、その年齢層のニーズというのを見てみたいので、時間と予算もかかると思うがしっかりとまとめていただきたい。

委員長	地域の話があったが、〇〇委員いかがですか。
〇〇委員	<p>地域での違いは確かにある。人口が少ない中で運動に関わるとなると、ほとんど関わっていないのではと思っていた。ただ、今のテレビ観戦でいえばスマホで見るのも関わるとなるのであれば、6割しか関わっていないという数字が低かったかなと思った。あと、子どもの送迎もささえるという意味で関わっているとなれば、いい数字で上がってくるのでは。あと、アンケートの回答方法だが、〇〇委員が言ったように紙ベースでの回答も可能であれば良いし、あんまり内容が細かいと読んでいるだけで嫌になってくると思う。データを取りたいということであれば聞くところの核をついたようにしつつ、何が知りたいのかというのを明確にして、細かくなりすぎないようなやり方が回答しやすいのでは。</p>
委員長	<p>第3期長岡市スポーツ推進計画の策定について、他にご意見はないでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>本日の協議内容を踏まえて、事務局で今後の展開を検討してほしい。</p>
(議題)	<p>(1) 長岡市中学校部活動地域展開の実施状況について (報告)</p> <p>(長岡市スポーツ協会説明)</p>
〇〇委員	<p>今まで何度も何度か話したが、クラブ内で問題があった場合学校と関係クラブとの連携はどうなっているのか。学校としてみれば、生徒指導に携わるとかえってごちゃごちゃしてしまうとか。またクラブはいろんな学校がきている中での連携とか。以前教員をやった立場で考えると、どこが主体的に責任を持つのか。誰か全体がわかる人がいないとあなた任せみたいになり、お互いに関知しないようなものになる。そういう傾向が30年、40年前にあったので、きちんとした学校やクラブの対応でないと、全体的に乱れるのではと危惧している。</p>
長岡市スポーツ協会	<p>今まで生徒を集めて、募集した指導者を配置する形式をとつていて、9月から各クラブに必ず代表者の選出をお願いしてい</p>

	<p>る。それと合わせて各学校の部活の顧問の先生にも深く関わっていただいており、そこに中体連の専門の先生にコーディネーター役で入ってもらっているので、指導者、保護者間のトラブルや、いろんな学校が集まっているところでの連携不足、コミュニケーション不足によるトラブルといったものも、顧問の先生とコーディネーターの先生に入ってもらうように調整している状況。</p>
○○委員	<p>基本的に教育委員会やスポーツ協会が主体的になる中、もし問題が起きた場合、きちんと対応できる体制がないとクラブ全體がおかしくなる。案外性善説もいいが、誰かエリアや学校を超えて頑張るという人がいないと大変なのでは。具体的に言えば、ある校長に学校にCome100クラブの指導者がいるかと聞くと、私は関知していません。これは地域移行なので学校は関係ないとなる一方、別の校長に聞くと、学校は全て関知しますよ。地域内はプロではないので、学校の問題なのでとなると大変。そこら辺の意思統一が学校教育現場で図られているのか。深刻に考えた方が案外いいのではないかという気がする。</p>
○○委員	<p>今の話でトラブルや生徒指導案件の中で、学校が関わらなければいけないものもあるし、関わらないでクラブ内で処理するものもあると思う。ただ一ついじめに関していうと、当該の生徒の所属している学校が対応するというのが原理原則。そうなった場合は、クラブと連携しながら被害者加害者の生徒が所属している学校が対応する。これは国、県、長岡市、教育委員会も示している。それと学校の中にCome100クラブの指導者がいるかどうかというのは、あくまで指導者になるかというのは個人個人の問題なので、何とも言えないというところ。</p>
○○委員	<p>基本的に地域移行という形の中で、言い方が悪いが口ではなんとでも言える。みんな地域に任せたのだからと責められると関係者は非常に大変、クラブの中は。そこの連携を、自分の子ども達のクラブなので一緒にコミュニケーションを図ってやる雰囲気をいかに作り出すか。</p>
事務局	<p>○○さんがおっしゃったとおりだと思う。学校と地域は当然連携を図っていくことは、もう間違이がないこと。学校部活動</p>

	<p>の教育的意義というのは、その地域にもスポーツクラブにも引き継いでいる。主体は結局学校、それから地域の活動は一時的に活動主体が責任を持って子ども達の面倒を見ることになるが、両者が教育的意義を持ってきちんと子どもを健全に育てていこうと、そこは共通の理念。その地域クラブで起こった活動の障害、支障は学校にも共有し、学校の中でも何かあったことは地域にも共有し、両者の目できちんと見ていく、そういう姿勢は大事かな、と。そこはスポーツ協会も教育委員会も両者共通した認識で対応していると思うので、今後また見守っていただきたい。</p>
委員長	○○委員どうですか。
○○委員	<p>先ほど Come100クラブに今まで部活に入っていた子どもが参加しないというのがあったが、テレビでスポーツクラブに入るのに以前から比べると 3 倍の費用がかかっているというのがあった。今共働きの家が大変多くて、その中で以前の 3 倍の費用と忙しい中での子どもも送迎。それが可能かどうか。出来る子どもには、いくらでも親は応援する一方、ただ何となく参加している子どもには、親もあまり応援することもないと地域でもそういうのが見える。できるだけ子どもにいろんなスポーツをやらせたいという気持ちはよくわかるが、出来ない子どもにはこういうスポーツあるよ、とそういうのを前に出してあげると、その子どもはそういうのに取り組めるのでは。そうすれば費用もそんなにかかるない。少し先へ行くのではなくて、スポーツの苦手な子どもでもできるようなスポーツに参加できたらいいなと思う。</p>
○○委員	<p>寺泊中学校で言えば普通は60%部活に入る。Come100クラブに入っているのは、15、6%。相当開きがある。自分達の時は全員入るというのが普通だった。しかも Come100クラブに入っているのが、ほとんど吹奏楽。運動しているのは、10人くらい。これでいいのだろうか。現実的に数字で見ると80%近くが、土日何もしていない。受け皿作りの総合型に対して何にもアプローチがない。その中で e スポーツやボッチャなど誰でも出来るものもひとつの方向性になるのでは。本当に 8 割、9 割ぐらいが土日何もしていない状況がこれから出来上がる。</p>

委員長	今始まったばかりなので、課題がある。今2学年でやっているが、来年3学年になるとまた入ってくる子もいる。どういう数字が出てくるかというのもあるが、できるだけ多くの方に参加してもらえたると運営主体としては思っている。
事務局	多様性という言葉も出たが、いろんなチャンネル、今〇〇さんもおっしゃった総合型、それ以外にもいろいろな取り組みをされている方もいると思うので、幅広にどういったものがあるか色々見極めていきたい。
〇〇委員	中学校部活動地域移行について、保護者と地域を密にというのがあるが、杓子定規になっているのではないか。地域に対してアプローチが何もない。自分が発言するから情報が入るが、返しがないと何もわからない。他の人は全然わからないと思う。
委員長	はい、ありがとうございました。 (1) 長岡市中学校部活動地域展開の実施状況について、他にご意見はないでしょうか。 (意見なし) では、次の報告事項になります。
(議題)	(2) 令和8年度予算化に向けた主な事業について(報告) (事務局説明)
〇〇委員	南部体育館の照明設備の工事ということだが、時計の修繕や天井のずれも一緒にしていくのか。
事務局	天井のずれについては、そのまま進めたいと考えている。
委員長	はい、ありがとうございました。 (2) 令和8年度予算化に向けた主な事業について、他にご意見はないでしょうか。 (意見なし) 報告事項については以上とします。

	5 その他について事務局お願いします。
事務局	今回ご審議いただいて、次回は先ほど資料1でも説明があつたが、来年の3月頃第2回目の開催を考えておりますので、近づきましたらご案内いたしますのでよろしくお願ひいたします。
委員長	全体を通してご意見いかがですか。統括して副委員長お願いします。
副委員長	長岡市陸上競技協会の理事もやっているが、小学生に指導している。中学生の場合、ほとんどの陸上部は陸上競技場に来ているので、指導者がほしいというような話を聞く。小学生も指導者不足。また、子どもたちは陸上競技場に来るには、旧長岡であれば自転車で行けるが、支所地域は来られないのではと思っている。また、地域でいえば深才地区になるが、深才地区体育協会としてみんなで話し合って色々考えてやっている。ふれあい祭りでは技大の学生に協力いただき、eスポーツも行っている。小中学生、園児も簡単なものから難しいものまでしており、参加人数も年々増えていっているので継続できればと思っている。また、中学生にコミセンでこういうスポーツがあるとアピールしたら、自分達は来てはいけないような感覚だったようだが、バドミントンやソフトバレーに興味がある子たちが来てくれた。お年寄りでコミセンが遠いようだったら公民館というところも使って、何かしら出来ることがあればやってもいいのでは。いろんなことを考えてやっていきたい。今はユニバーサルスポーツ、誰もが出来るスポーツ、○○さんも言っていたボッチャもそう。先日スポーツ推進委員連盟の研修部で集まった時に、ボッチャ、ペタンクそういうのを見直して、みんなで出来るものを進んでやってもいいのではと話し合った。地域のことのみんなで考えて、声をかけていければなと思う。
○○委員	ハラスメントの窓口は、もう作られているのか。これからなのか。
長岡市スポーツ協会	部活の地域移行ですか。もう、設置しています。今年の9月からになるが、6件あった。コンプライアンスの規定を設け

	ていて、規定違反があった場合は処分。
○○委員	専属の弁護士がいるのか。
長岡市スポーツ協会	弁護士とも連携しながら。受け付けた内容によってはヒアリングフローを作つて、これは処分相当となると、推進協議会にかけて、注意、警告、除名。生徒、指導者、保護者が対象。
○○委員	私も今、オリンピアンの第三者委員会の委員をしているが、本当にいろんな問題が出てきている。選手とコーチ、コーチと保護者。これでといふものもあれば、指導者に対する嫉妬であつたり、妬みであつたり、そういうのが問題になってくる場合もある。やはり今、指導者が弱い立場になってきていて、教えられない、何も言えないという状況もある。これからもつといろんな問題が出てくると思うが、頑張っていただきたい。その辺が心配で、長岡はどれくらい出ているのかと思った。
長岡市スポーツ協会	今のところ処分案件まではいっていないが、その手前の再発防止改善指導案件という形で、ちゃんと話を聞かないと判断するにも時間がかかってしまう。
○○委員	頑張っていただきたい。
委員長	以上で、審議会を終わります。